

6 好きなスポーツ選手

6-1 好きなスポーツ選手

12～21歳を対象に、好きなスポーツ選手1名の名前とその種目をたずねた。12～21歳全体の54.1%にあたる906人からの回答が得られた。回答は多様で延べ308人の選手名があげられた。

表6-1に示す2019年調査の結果をみると、1位は「大谷翔平」6.0%であり、次いで「羽生結弦」5.5%、「大坂なおみ」5.4%、「錦織圭」4.3%「イチロー」3.3%と続いた。上位10人の種目の内訳をみると、野球が3人、フィギュアスケート・サッカー・テニスがそれぞれ2人であり、さまざまな種目の選手の名前があがった。

「大谷翔平」「羽生結弦」「錦織圭」は前回調査の2017年から引き続き人気は高く、2019年も5位以内にランク

インしている。2019年では「大坂なおみ」「八村塁」「久保建英」「サニブラウン アブデル ハキーム」など、今後さらなる活躍が期待される選手が初めて10位以内にランクインした。

また、2015年では1位「錦織圭」12.0%、2位「羽生結弦」4.6%と1位と2位の差は7.4ポイントであるが、2017年では1位「錦織圭」8.8%、2位「羽生結弦」5.2%となり3.6ポイント、2019年では1位「大谷翔平」6.0%、2位「羽生結弦」5.5%であり0.5ポイントと、その差は年々縮小しており、突出して人気のある選手は減少傾向にある。

【表6-1】好きなスポーツ選手の年次推移(12～21歳)

2015年 (n=783)			2017年 (n=839)			2019年 (n=906)		
順位	選手名	%	順位	選手名	%	順位	選手名	%
1	錦織 圭 (テニス)	12.0	1	錦織 圭 (テニス)	8.8	1	大谷 翔平 (野球)	6.0
2	羽生 結弦 (フィギュアスケート)	4.6	2	羽生 結弦 (フィギュアスケート)	5.2	2	羽生 結弦 (フィギュアスケート)	5.5
3	浅田 真央 (フィギュアスケート)	4.2	3	大谷 翔平 (野球)	3.0	3	大坂 なおみ (テニス)	5.4
	イチロー (野球)	4.2	4	浅田 真央 (フィギュアスケート)	2.7	4	錦織 圭 (テニス)	4.3
5	本田 圭佑 (サッカー)	3.1	5	イチロー (野球)	2.6	5	イチロー (野球)	3.3
6	坂本 勇人 (野球)	2.8	6	クリスティアーノ ロナウド (サッカー)	2.1	6	八村 塁 (バスケットボール)	2.2
	ネイマール (サッカー)	2.8	7	石川 祐希 (バレーボール)	2.0	7	坂本 勇人 (野球)	2.0
8	リオネル メッシ (サッカー)	2.7		8	リオネル メッシ (サッカー)	2.0	8	久保 建英 (サッカー)
9	内田 篤人 (サッカー)	2.4	9	水谷 隼 (卓球)	1.9	8	リオネル メッシ (サッカー)	1.8
	木村 沙織 (バレーボール)	2.4	10	木村 沙織 (バレーボール)	1.8		9	石川 祐希 (バレーボール)
						10	宇野 昌麿 (フィギュアスケート)	1.2
							サニブラウンアブデルハキーム (陸上競技)	1.2

注) 2015年は「10代のスポーツライフに関する調査」の12～19歳を分析対象とした

資料: 笹川スポーツ財団「12～21歳のスポーツライフに関する調査」2019

6-2 性別にみる好きなスポーツ選手

表6-2に性別にみた好きなスポーツ選手を示した。男子は1位「大谷翔平」7.1%、2位「錦織圭」4.9%、3位「イチロー」3.9%、4位「久保建英」「八村塁」「リオネル・メッシ」2.8%であった。

女子は1位「大坂なおみ」12.1%、2位「羽生結弦」11.6%、3位「大谷翔平」4.3%、4位「錦織圭」3.5%、5位「浅田真央」「宇野昌磨」2.7%と続く。上位10人の種目の内訳をみると、男子では野球とサッカーが4人、バスケットボールが2人、テニス、格闘技がそれぞれ1人で

あった。女子では、フィギュアスケートと野球がそれぞれ3人、テニスと卓球がそれぞれ2人、バレーボールが1人であり、男女ともに人気の種目が分散する特徴が確認できる。

男子では上位10位以内にあがったアスリートすべてが同性であるが、女子では同性と異性のアスリートが混在していた。また、男子では上位10位以内に外国人選手の名前がランクインしているが、女子では外国人選手の名前はあがらなかった。

【表6-2】好きなスポーツ選手(12~21歳:性別)

男子 (n=535)			女子 (n=371)		
順位	選手名	%	順位	選手名	%
1	大谷 翔平 (野球)	7.1	1	大坂 なおみ (テニス)	12.1
2	錦織 圭 (テニス)	4.9	2	羽生 結弦 (フィギュアスケート)	11.6
3	イチロー (野球)	3.9	3	大谷 翔平 (野球)	4.3
4	久保 建英 (サッカー)	2.8	4	錦織 圭 (テニス)	3.5
	八村 塁 (バスケットボール)	2.8	5	浅田 真央 (フィギュアスケート)	2.7
	リオネル メッシ (サッカー)	2.8		宇野 昌磨 (フィギュアスケート)	2.7
7	坂本 勇人 (野球)	2.2	7	イチロー (野球)	2.4
8	石川 祐希 (バレーボール)	1.7		伊藤 美誠 (卓球)	2.4
	柳田 悠岐 (野球)	1.7	9	黒後 愛 (バレーボール)	1.6
10	那須川 天心 (格闘技)	1.5		坂本 勇人 (野球)	1.6
	本田 圭佑 (サッカー)	1.5		福原 愛 (卓球)	1.6
	ステファン カリー (バスケットボール)	1.5			
	ネイマール (サッカー)	1.5			

資料: 笹川スポーツ財団「12~21歳のスポーツライフに関する調査」2019

COMMENTS

- 習いごとに頼るのではなく、親と一緒に運動することを大事にしています。子ども本人がやりたいと言うスポーツにはチャレンジしてほしいと思っています。(9歳男子の父親)
- 自宅は自然豊かな地区にあるため、四季を存分に感じながら庭先だけではなく、野外(土手)に出てウォーキングやサイクリングも親子で楽しむようにしている。(10歳男子の母親)

資料: 笹川スポーツ財団「4~11歳のスポーツライフに関する調査」2019、「12~21歳のスポーツライフに関する調査」2019

6-3 学校期別にみる好きなスポーツ選手

表6-3には学校期別にみた好きなスポーツ選手を示した。中学校期では「大谷翔平」が6.7%で1位となった。「羽生結弦」が高校期は7.6%、大学期は8.2%で1位となり、勤労者では「イチロー」が7.4%で1位となった。2位には中学校期は「大坂なおみ」、高校期は「錦織圭」、

大学期は「大谷翔平」、勤労者は「大坂なおみ」「大谷翔平」「羽生結弦」がランクインしている。

「大坂なおみ」は全ての学校期において3位以内にランクインしている選手であり、さまざまな年齢の青少年に人気がある。

【表6-3】好きなスポーツ選手（12～21歳：学校期別）

中学校期 (n=328)			高校期 (n=275)		
順位	選手名	%	順位	選手名	%
1	大谷 翔平 (野球)	6.7	1	羽生 結弦 (フィギュアスケート)	7.6
2	大坂 なおみ (テニス)	6.4	2	錦織 圭 (テニス)	6.2
3	錦織 圭 (テニス)	3.7	3	大坂 なおみ (テニス)	5.5
4	イチロー (野球)	2.7	4	大谷 翔平 (野球)	5.1
	八村 塁 (バスケットボール)	2.7		イチロー (野球)	2.5
6	伊藤 美誠 (卓球)	2.4	5	久保 建英 (サッカー)	2.5
	羽生 結弦 (フィギュアスケート)	2.4		坂本 勇人 (野球)	2.5
	リオネル メッシ (サッカー)	2.4		リオネル メッシ (サッカー)	2.5
9	菊池 涼介 (野球)	1.5	9	八村 塁 (バスケットボール)	2.2
	久保 建英 (サッカー)	1.5	10	サニブラウン アブデル ハキーム (陸上競技)	1.8
	サニブラウン アブデル ハキーム (陸上競技)	1.5		水谷 隼 (卓球)	1.8
	那須川 天心 (格闘技)	1.5			
	柳田 悠岐 (野球)	1.5			

大学期 (n=207)			勤労者 (n=81)		
順位	選手名	%	順位	選手名	%
1	羽生 結弦 (フィギュアスケート)	8.2	1	イチロー (野球)	7.4
2	大谷 翔平 (野球)	5.8	2	大坂 なおみ (テニス)	4.9
3	大坂 なおみ (テニス)	3.9		大谷 翔平 (野球)	4.9
	錦織 圭 (テニス)	3.9		羽生 結弦 (フィギュアスケート)	4.9
5	イチロー (野球)	3.4	5	坂本 勇人 (野球)	3.7
6	浅田 真央 (フィギュアスケート)	2.4	6	井上 尚弥 (ボクシング)	2.5
	坂本 勇人 (野球)	2.4		内村 航平 (体操競技)	2.5
8	桃田 賢斗 (バドミントン)	1.9		宇野 昌磨 (フィギュアスケート)	2.5
9	石川 祐希 (バレーボール)	1.4		田臥 勇太 (バスケットボール)	2.5
	久保 建英 (サッカー)	1.4		錦織 圭 (テニス)	2.5
	黒後 愛 (バレーボール)	1.4		八村 塁 (バスケットボール)	2.5
	本田 圭佑 (サッカー)	1.4		柳田 悠岐 (野球)	2.5
	クリスティアーノ ロナウド (サッカー)	1.4		ネイマール (サッカー)	2.5
	マイケル ジョーダン (バスケットボール)	1.4			

資料：笹川スポーツ財団「12～21歳のスポーツライフに関する調査」2019